

(様式5)

## 事 業 実 績 書

### 1 校内概要及び事業実施対象学年

児童数及び学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	備考
男	0	1	3	4	1	0	9	
女	1	1	1	1	1	1	6	
計	1	2	4	5	2	1	15	学級数 複式 3

#### (1) 事業実施対象学年

全校児童15名（1～6年 男9名 女6名）

### 2 事業実施期間 · · · · · 平成24年4月1日～平成25年2月28日

### 3 事業実施内容

- (1) 岩泉の自然保護等に関わる行事への参加
- (2) 廃品回収、ゴミの分別、リサイクル活動の実践
- (3) 出前講座の講演会、施設見学による学習会
- (4) 地域の産業や環境を生かした作物の栽培活動
- (5) 栽培した作物を生かした郷土料理の作り方を学ぶ活動
- (6) 学んだことを学習発表会で発信する活動

### 4 事業の成果と問題点等（事業実践の視点を踏まえて）

#### (1) 事業の成果

- (ア) 児童は、大川地区自然保護のためのクリーン作戦に意欲的に参加し、保護者や教職員とともに協力し合いながら取り組むことができた。
- (イ) 大川老人クラブの方々を中心に、地域の方々と共に栽培活動（そば）を行うことにより、食物を育てる喜びを味わうとともに、作業を通して地域の方々への尊敬の気持ちをもつことができた。
- (ウ) 自分たちで育てたそばを粉にしたり、そばうち体験をしたりすることにより、栽培活動への目的意識が高まるとともに、達成感や満足感を味わうことができた。
- (エ) 花壇の整備作業を通して、花を育てる喜びや、仕事に対する責任感を養うことができた。そして今年度は、花いっぱいコンクールにおいて、最優秀賞を受賞した。

#### (2) 問題点等

- (ア) 花壇作業や畑作業にかかる活動時間の確保が難しかった。そのため、草取り作業の際、用務員さん方の手を借りることも少なくなかった。
- (イ) 栽培活動や整備活動から更に発展させて、自然保護への意識や環境問題に関する意識にまで活動の幅を広げていくことができるようになら。
- (ウ) 様々な活動を通して学んだことを、児童の立場から発信していく方策を検討したい。